

日経アーキテクチャー



■建築とまちづくりの、日々進む技術や情報を得るための本です。

・・・定価 1900 円（定期購読 24 冊/年・26200 円）・・・

2021.04.21 号は「コンクリート超進化」でした。表紙写真は、ドイツで進む 3D プリンター活用・2 階建て住宅を 8 日で「印刷」！



■時事

- ・熊本城天守閣の復旧工事が完了、2016 年から 5 年。86 億円の事業費、炭素繊維による梁の補強なども施工。
- ・360 度写真から建物情報(竣工図や修繕履歴、仕様書の建物情報など)を探せる、山下 PMC クラウド型プラットフォーム「b-platform」開始。・バリアフリー設計指針 4 年ぶりに改定(小規模店舗バリアフリー設計) など。

■コンクリート超進化

- ・ドイツ PERI、3D プリンター。建設現場を工場化、厚さ 2cm・幅 5cm のコンクリートを積層。延べ面積 160 m² の 2 階建て住宅をプリント。ペリー・ジャパンなど日本での実用化も検討中。
- ・残りの打設数量を素早く計測・AR 技術を用いてアプリ開発。・・・現場で計測、苦労しました。。
- ・凹凸をレーザー測量で可視化、不陸±2mm 以内の床面にいどむ。・・・現場で計測、苦労しました。。
- ・自己治癒コンクリートはバクテリアとポリ乳酸の粉末「バジリスク」を入れて、クラックや損傷を自己治癒。壊れないコンクリートで業界を変革。脱炭素コンクリートも、グリーンコンクリートなど多く研究開発が進む。

■国交省 3D 都市モデル「PLATEAU (プラトー)」の衝撃

- ・都市の 3D 化が進む。簡単操作で避難経路や、建物の築年数の色分けなど都市情報が一目瞭然です。愛知では岡崎市などが 3D 化されています。都市モデルが公式の WEB サイトで公開されています。

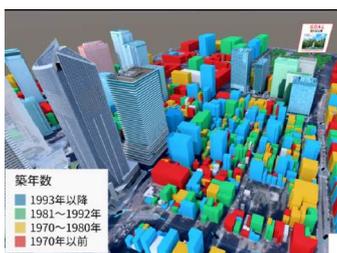
■ヤギサワベース (東京都) ～駄菓子屋併設でデザイン業拡大

- ・まちづくり仕組み図鑑として、デザイン事務所オフィスと兼ねる形で、子どもたちの居場所づくりのために駄菓子屋を営む。昼は子ども、夜は大人が集う場所となり、パパ友などからの仕事の依頼も！

■定期購読とはいかずとも、気になる特集のときには、ぜひ購読を。大切に興味つきない本です。(黒野)



▲ヤギサワベース



▲国交省 3D 都市モデル「PLATEAU (プラトー)」

